



市公式サイト

なばり

2016年(平成28年) 10月25日号

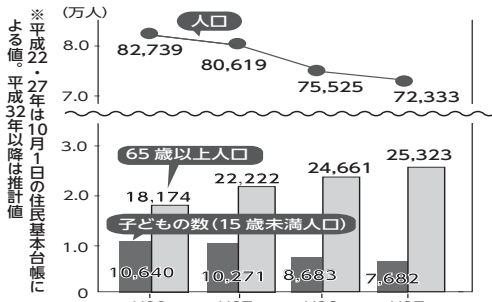
主 内容

- 1~5……特集 「あなたを支える」
- 6……救急ワークステーション試行運用開始
- 7……二次救急実施病院
- 8……とれたて! なばり2016

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

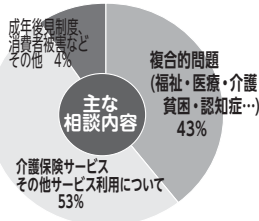


市の人口と65歳以上と子どもの数の推計



地域包括支援センター相談内訳(平成27年度)

地域包括支援センター
相談 788件
介護サービスの相談以外は、さまざまな課題が複合している内容が多い。



人口が減少し、少子高齢化が進むと、福祉や防犯、防災など地域を取り巻く課題が複雑化していきます。「自分や家族のこと

が進んでいきます。人口が減少し、急激に高齢化が進んでいきます。全国的に少子高齢化が進み、核家族化や高齢者のみの世帯や単身者が増えています。本市も例外ではありません。今後は、人口が減少し、急激に高齢化が進んでいきます。

地域福祉教育総合支援システム

特集

あなたを支える

「このまちで生き、このまちで支える。連携システム

少子高齢化そして核家族化が進むと、生活課題は複雑化し、周りが気付かず、解決が困難なケースが増えてきます。本市では、今まで以上に地域や関係機関と連携した取り組みを進め、支援が必要な人をまち全体で支える地域福祉教育総合支援システムを立ち上げます。

☎ 地域包括支援センター ☎ 63・7833

さらなる連携を進める

市では、地域づくりと一体化した地域福祉や住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるための地域包括ケアシステムを進めています。

は自分で守る」それができないだけでなく、制度や法律だけでは解決が難しく、さまざまな課題を複合的に抱えるケースも多くなり、相談が増えていきます。

今後、増えていく複合的な生活課題や制度の谷間に行政が踏み込みにくい課題は、行政だけが対応するものでも、地域に任せるものでもありません。地域と行政や専門機関とが協働して課題解決の「カタチ」を創り上げなければなりません。関係機関とのネットワークをつなぐため、調整する役割も必要です。支援が必要な人にワンストップで応え、地域全体で支える体制が求められています。

2ページ以降に続く